

公立藤岡総合病院附属外来センター診療予定表 平成27年12月1日現在

診療科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
総合診療科 (新) 新患・(再) 再来	(新) 河合 (新) 高野	(消)(再) 壁谷 (血)(再) 神保	(新) 神保 (新) ☆岩瀬	(腎)(再) 河合 (衛)(再) 飯島(徹)	(新) 河合 (新) ☆内藤	(腎)(再) 河合 (衛)(再) 飯島(徹)	(新) 大崎 (新) 荒木	(神)(再) 柳澤 (血)(再) 神保	(新) 壁谷 (新) 神保	(神)(再) 柳澤 (衛)(再) ☆岩瀬
循環器	植田	高松	井上(雅) 間測	井上(雅)	☆山岸 小野	☆山岸	飯島(徹) 植田 高松 鈴木(忠)	飯島(貴) 鈴木(忠)	小野 ☆山岸	間測
呼吸器	中川	中川	塚越 ※高野	塚越		須賀 神戸 ※禁煙外来	高野 嚙下外来 (第1・3週) 在宅酸素外来 (第2週)		中川	塚越
血液	外山 (再) 神保	大崎	斎藤(明)	神保	斉藤(貴)			斎藤(明)		外山 ☆内藤
腎臓・リウマチ	宮	☆太田	荒木		☆太田			宮	塚田 河合	塚田
糖尿病	今村			☆朱				今村 ☆朱	☆朱	☆朱
神経内科	柳澤	柳澤	柳澤			柳澤 (第2・4)			古田	古田 (第2・4)
甲状腺						※常川				
(消) 消化器・(肝) 肝臓		(消) ☆山口 ※柳澤 (15:00~16:00)		(消・肝) 壁谷	(消) ☆山口		(消) 秋谷	(消)(再) 壁谷		
緩和ケア外来										
心療内科	※五十嵐(孝)	※五十嵐(孝)	※五十嵐(孝) ※佐藤	※五十嵐(孝) ※佐藤	※五十嵐(孝) ※鈴木(雄)	※鈴木(雄)	※五十嵐(孝)	※五十嵐(孝)	※五十嵐(孝)	
小児科 (乳) 乳児健診 (予) 予防接種	川嶋 相馬	(心臓)※岡田 (第2・4) ※川嶋 (予)※深澤	川嶋 ☆懸川	※川嶋 ※相馬 (内分泌) ※小和瀬	川嶋 ☆小山	※川嶋	川嶋 相馬	※五十嵐(恒) ※川嶋 ☆懸川	川嶋 深澤	※川嶋 ※渡部 (乳)※相馬
外科 (新) 新患 () がん専門外来	(新) ☆徳田 田中(成) 中里	(消化器・食道) 田中(成) (消化器) 中里	(新) 安藤 ☆松本	(消化器・乳) ☆松本	(新) ☆松本 設楽 山中		設楽 (胃・大腸) 安藤 (一般) 山中	(新) ☆徳田 森永	(胃・大腸・肝臓・脾) 森永 (消化器) ☆徳田	
ストーマ外来									要予約	
整形外科	☆大嶋 山口(蔵) 関		中島 勝見 萩原(明) 10時30分～ 装具外来		☆大嶋 橋本 萩原(明) (リハビリ) 清水		大谷 橋本 関 10時30分～ 装具外来		中島 山口(蔵) 萩原(明) (リハビリ) 清水 10時30分～ 装具外来	
脳神経外科	若林		非常勤		田村 ※甲賀				非常勤 甲賀	
皮膚科	嶋岡		嶋岡	[手術]	嶋岡	手術 (13～15時)	嶋岡	嶋岡	嶋岡	
泌尿器科	内田	内田	坂本	坂本	曲		※内田		武井	武井
産婦人科 (婦) 婦人科・(産) 産科	(婦) 吉田 (産) ☆延命	(婦)(産) 吉田 (産) ☆延命	(婦) ☆延命 (産) 吉田	(婦) 吉田 (産) ☆延命	(婦) 吉田 (産) 岡庭	(婦) 吉田 (産) 山下	(婦) ☆延命 (産) 遠藤	(婦) ☆延命 (産) ☆延命	(婦) 小松 ※吉田	(産) 小松 ※吉田
助産師外来		※13～14時		※14～16時		※14～16時				※14時～16時 (第3・4)
眼科	永井	[検査]	永井	[検査]	永井	[検査]	※群大		永井	[検査]
耳鼻咽喉科		※群大 (14時30分～)	※非常勤		※古屋		※群大	※めまい外来 (14時～)		
ペインクリニック	荒井/金井/萩原(電)						牛込			

診療時間：8時45分～17時00分
受付時間：〈午前の部〉8時～11時 〈午後の部〉13時～16時

※は完全予約
☆は女性医師

■発行：〒375-8503 群馬県藤岡市藤岡942番地 1 公立藤岡総合病院 経営管理部 企画財政課
(代表) TEL 0274-22-3311 FAX 0274-24-3161 URL <http://www.fujioka-hosp.or.jp/>

2015年 秋号 発行日▶2015.12.2

公立藤岡 総合病院 地域医療連携だより



泌尿器科のご紹介

泌尿器科部長 武井 智幸



泌尿器科で扱う尿路性器の悪性腫瘍のうちで最も多いのが前立腺がんです。当科では年間約60人程度が新規に前立腺がんと診断されております。以前は骨転移のある状態(病期D)で見つかることが多く、治療はホルモン療法が主でした。しかし前立腺がんの腫瘍マーカー(PSA:前立腺特異抗原)の普及に伴い、無症状で診断される早期前立腺がんが増加しています。早期前立腺がんの治療は、待機療法(PSA監視療法)、手術(前立腺全摘出術)、放射線治療、ホルモン療法と選択肢が多数あるため、リスク分類、年齢、合併症、患者さんの希望などにより相談しながら治療方針を決定しています。手術(前立腺全摘出術)は従来の開放手術から、より侵襲の軽い腹腔鏡下手術、ロボット支援腹腔鏡下手術と進歩しています。当科では2014年から腹腔鏡下前立腺全摘出術を開始しました。現在まで(2015年9月)に16例行ってきましたが、従来の開放手術と比較し手術時間はやや長いものの、出血量が少なく、膀胱尿道吻合も拡大視野で正確に行える印象です。今後もさらに技術の向上に努め手技を洗練させていきたいと考えております。

病院の理念
患者本位の医療

基本方針

- ・患者さまの意思を尊重し、信頼される医療を提供します。
- ・地域中核病院として、高度な医療と救急医療の充実に努めます。
- ・急性期病院として関係機関と連携し、地域医療の充実に努めます。
- ・地域がん診療連携拠点病院として、機能の充実強化に努めます。
- ・臨床研修指定病院として、地域医療を担う優れた医師の育成に努めます。
- ・地域医療支援病院として、地域の医療人の教育・研修の充実強化に努めます。

研修理念 医師臨床研修 基本方針

臨床研修は、医師が、医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割と医療チームの一員であることを認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けると同時に医療安全への配慮を身に付けることを基本理念とする。

- ・基本的知識・技能・態度を習得する。
- ・患者中心の医療を理解し、実践する。
- ・チーム医療の重要性を理解し、実践する。
- ・医療安全を深く理解し、実践する。
- ・医療人としての倫理観を養成する。
- ・地域医療の重要性を理解し、実践する。

各種機能評価の認定について



日本医療機能評価機構
機能種別版評価項目3rdG(Ver.1.0)



NPO法人卒後臨床研修評価機構
(JCEP)



日本人間ドック学会
人間ドック施設機能評価

当院は、平成27年6月5日付けで日本医療機能評価機構の機能種別版評価項目3rdG (Ver.1.0) 一般病院2の認定を受けました。病院機能評価認定は今回で3回目となります。

また、臨床研修の質の向上を図ることを目的とする第三者評価機構であるNPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による機能評価を受診し、平成27年4月1日付けで4年間の認定を受けました。

附属外来センター 健康管理センターでも日本人間ドック学会が定める人間ドック健診施設機能評価認定を平成27年4月1日付けで5年間の認定を受けました。

これからも、質の高い医療サービスの提供に向けて、病院機能の改善と充実に努め、信頼される医療の提供に努めてまいります。また臨床研修指定病院として優れた人材育成を提供する場として臨床研修の質をより一層高めてまいります。

TOPICS

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015ぐんま

平成27年10月17日(土)～18日(日)
群馬県総合スポーツセンター(ぐんまアリーナ)

今年もチャリティーイベントに参加しました。



がん征圧を呼び掛けるチャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015ぐんま」に今年も参加してきました。

患者団体や医療機関など約70団体、2日間で約6,000人が参加し、当院からは87名の参加があり大盛況でした。また、当院の患者さんも今年も元気に参加することができました！

入退院支援担当看護師の紹介

急性期病院の平均在院日数が短縮する中、患者様が質の高い医療を受け、安心して在宅へ復帰していただくために、平成27年4月より、入院棟の地域医療支援連携センター内に、入退院支援担当看護師が配置されました。現在は、予約入院、緊急入院、および他医療機関からの紹介入院時に、病床利用状況を勘案し病床を確保(ベッドコントロール)しています。また入院後は、全患者様を対象に「退院支援計画」に関するスクリーニングを実施しています。そして、支援が必要と判断された場合は、退院支援計画をもとに入院当日より早期退院に向けてMSWと協働し介入しております。そのため、必要に応じて病棟でのカンファレンスや医師の病状説明等にも同席しています。また人工呼吸器を装着したまま自宅へ退院する患者様については、看護師が自宅まで同行するなど、安心してお帰りいただけますよう支援しております。

今後は、附属外来センターとの統合に向けてより一層、入退院支援業務を充実させていきます。

今後も、ご支援ご協力の程、よろしくお願いいたします。

文責 副看護部長 采谷 洋子



▲左から看護師 田村、針谷、采谷